平成２８年９月２日

# 英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース
# 第三回会合の開催について

１．　趣旨

英国のＥＵ離脱に関する政府の対応について検討するために，９月２日，英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース第三回会合を開催。

２．　タスクフォース出席者

| | | |
|---|---|---|
| 議　長 | 萩生田　光一 | 内閣官房副長官 |
| 副議長 | 古谷　一之 | 内閣官房副長官 |
| 副議長代理 | 松永　明 | 内閣審議官 |
| 構成員 | 原　宏彰 | 内閣府　大臣官房審議官 |
| | 森田　宗男 | 金融庁　総括審議官 |
| | 髙木　誠司 | 総務省　情報通信国際戦略局次長 |
| | 宮川　学 | 外務省　欧州局審議官 |
| | 山野内　勘二 | 外務省　経済局長 |
| | 梶川　幹夫 | 財務省　関税局長 |
| | 神田　裕二 | 厚生労働省　医政局長 |
| | 横山　紳 | 農林水産省　大臣官房国際部長 |
| | 赤石　浩一 | 経済産業省　大臣官房審議官 |
| | 奈良原　博史 | 国土交通省　国際統括官 |
| | 其田　真理 | 個人情報保護委員会事務局長 |

３．　第三回タスクフォースの概要

（１）　第三回会合においては，関係府省庁がこれまでに収集した情報に加えて，主要経済団体や欧州進出日系企業等の声も踏まえた形で，英国及びＥＵへのメッセージを採択した。

（２）　萩生田光一内閣官房副長官は，今後，英国とＥＵが将来の関係を定めていくに当たり，我が国の要望が適切かつ効果的に反映されるよう，本メッセージを速やかに両者に伝達していく必要があることを指摘し，今後Ｇ２０等の，首脳・閣僚級の外交機会を最大限活用し，併せて在外公館を通じ，英国及びＥＵへの働きかけを行っていくよう指示した。

（３）　また萩生田副長官は，英国のＥＵ離脱プロセスは息の長いものとなることが見込まれるところ，今後も，本タスクフォースを随時開催し，英ＥＵ間での新たな動きや我が国からのメッセージに対する英国・ＥＵ側の反応等を含めたフォローアップや日系企業・経済界のその後の動向等について情報共有を図っていきたい旨を述べた。さらに，萩生田副長官は，今後も，経済界の懸念・要望に最大限に耳を傾けつつ，引き続き，政府が一体となって本件課題に取り組んでいくことが重要であり，関係府省庁は，英国及びＥＵの離脱交渉の推移等を注視しつつ，あらゆる事態に柔軟に対応すべく，様々なシナリオを想定し，シミュレーションを行う等，不断の努力を継続するよう指示した。